

第30回 東京大江会 30回の節目を祝う!!



あいさつする桑田会長
来賓として
山口支所長よ
り市の情勢報
告どあるさ
れを述べられ
た後、桑田会
長が故郷の状
況をお知らせ
ました。

4月5日、東京都内のホテル「ラ・ベル オーラム」で第30回東京大江会が開催され、会員および来賓らおよそ80名が集まりふるさとの話に花を咲かせました。

天草から山口天草支所長、Jバあまくさの船津企画部長、また振興会から桑田会長、木田副会長と事務局の5名で出席させていただきましたのでご報告します。

出発日、天草は小雨、機体も若干遅れはしましたが東京ではすばらしい天候に恵まれ桜も満開。上野駅では天草と連つた町並みに映えるピンク色の桜が私たちを迎えてくれました。

総会では、松村会長が「今回は記念すべき30回目。このようないきあひがどうございます。会員も高齢になっています。これからは若い人たちを誘ってください」とあります。会員の方に集まつて、川口事務長が「よう来て笑わせ、大江弁での事業報告がありました。

元気やったかな」と会場

で志摩一美さん、天草出身の天

じみの荒木おさむ氏による司会

第二部ではテレビなどでおな

がらあいさつを組びました。

農業栽培のテコボン、器量は悪

いがよく最高のもの、安心して

食べて欲しい」と笑いを交えな

いたいとお礼のことばを述べま

した。そして、天草から持参し

た土産についても紹介し、「無

するため、年6回「振興会だよ

り」を発行していることを紹介

し、継続購読と新規申し込みを

お願いしました。また、ふるさ

と応援寄付金に多くの方から賜

力があり、大江地区で有効に使

いました。そして、天草から贈

られたお土産を紹介しました。

（文・橋口松也）

「あなたは、元気しつつね？」

「あんたこそ、どがんしつとつ？」

（文・橋口松也）

お楽しみの一つ「抽選会」。今年も豪華賞品で盛り上りました

（文・橋口松也）

お楽しみの一つ「抽選会」。今年も豪華賞品で盛り上りました